



A 試合会場レポート

試合番号 125

開催日 2021/12/19

令和3年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 男子 会場：高崎アリーナ

観客数： 1,141	開始時間： 16:15	終了時間： 18:52	試合時間： 02:37	主審： 山本 晋五	副審： 浅井 唯由
------------	-------------	-------------	-------------	-----------	-----------

堺ブレイザーズ



監督：千葉 進也
コーチ：長江 祥司

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

2	22	第1セット 【00:28】	25	3
	29	第2セット 【00:36】	27	
	18	第3セット 【00:28】	25	
	25	第4セット 【00:30】	21	
	17	第5セット 【00:23】	19	

ポイント 【】内はセット時間
- ()内は交代選手

ウルフドッグス名古屋



監督：マクガウン クリス
コーチ：深津 貴之

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>

まず初めに、本大会を開催していただけたことに感謝しています。この大会で、チームとしてはとても大きな経験を得ることができました。日本一に手が届いていたのですが、あと1点が遠い試合となりました。この1点をどう取るか、それをまたチームとして一から考えて取り組んでいきます。

遠方にも関わらず駆けつけてくれた全てのサポーターの方々に感謝しています。

来年必ず、このタイトルを掴みに決勝の舞台に戻ってきます。

22	出末田	樋口	第1セット	クレク	近	25
	(堀江)	()		()	(前田)	
	深津	バーノン		山崎	高梨	
29	高野	松本	第2セット	傳田	永露	27
	()	(佐川)		(勝岡)	()	
	深津	高野		山崎	傳田	
18	出末田	樋口	第3セット	高梨	永露	25
	()	(高野)		()	()	
	深津	バーノン		近	傳田	
25	(千々木)	(山口)	第4セット	クレク	山崎	21
	()	()		()	()	
	迫田	松本		永露	傳田	
17	樋口	バーノン	第5セット	傳田	山崎	19
	(高野)	()		(勝岡)	()	
	出末田	松本		永露	クレク	
	(佐川)	()		()	()	
	深津	迫田		高梨	近	
	()	(千々木)		()	(伏見)	

<監督コメント>

両チームにとって信じられないくらいの高いレベルでの試合だったと思います。相手もとても重要な場面でよいプレーをしたと思います。この試合全ての時間がそのような攻防だったと思います。

本日に選手たちには感謝していません。毎日激しい練習をしてくれました。そして、チームワークにおいても非常にレベルの高い選手たちです。

我々スタッフはこの天皇杯全日本バレーボール選手権大会に向けて、素晴らしい仕事をし、準備してくれました。そして、ウルフドッグス名古屋を取り巻く全ての関係者がサポートしてくれました。この会場をホームゲームのように感じさせてくれたファンの方々に心から感謝申し上げます。Unite as One!

<要約レポート>

初優勝を狙う堺ブレイザーズと、昨日の勢いそのままに優勝したいウルフドッグス名古屋の一戦。

第1セット、序盤からお互いに点を取り合う展開。堺は、シャロンや高野、出末田が多彩な攻撃をしかける。対する名古屋は山崎のサービスエースで勢いに乗り、クレクの気迫溢れるスパイクでセットを先取る。

第2セット、高野・出末田のブロックで勢いになる堺。名古屋もクレク・山崎の活躍で両者譲らない展開が続く。堺は樋口・迫田のブロックで得点を重ね、このセットを勝ち取る。

第3セット、クレクのスパイクで勢いに乗る名古屋。堺は樋口や松本、シャロンのスパイクで応戦するも、名古屋が傳田と高梨の多彩な攻撃でこのセットを取る。

第4セット、堺は松本・迫田のスパイク、樋口のブロックでリードする。名古屋は高梨のバックアタックで流れを掴み、クレクのサーブで同点に追いつく。しかし、堺は松本が速いトスをコースに打ち分けて得点を重ね、樋口のスパイクでセットを取り、セットカウントを2-2とした。

第5セット、名古屋が永露やクレクの活躍で優位に試合を進め、山崎のバックアタックが決まり、リードする。しかし、対する堺がシャロンの連続得点と樋口のスパイクで同点に追いつく。観客を沸かせる両者譲らない展開が続くも、名古屋は高梨とクレクの打点の高いスパイクで攻め続け、5年ぶりの天皇杯を手中に収めた。

作成者：清水 菜々子